

● ボランティアリーダー育成事業

ボランティア・NPO活動センターでは、本学の学生を対象に、ボランティアリーダーの育成を目的としたセミナーやワークショップを行っています。「ボランティア入門講座」は、ボランティアについての基礎的な講義とボランティア体験を行うプログラムで、ボランティア初心者の方の学生向けに実施しています。また、「ボランティアリーダー養成講座」は、センターを運営する学生スタッフやすでにボランティア活動やサークル活動を行っている学生を対象に、スキルアップや組織運営の向上を目指した内容となっています。

企画名	ボランティア入門講座	
	深草キャンパス	瀬田キャンパス
第1回	2012年5月29日(火) 17時30分～19時30分	2012年5月23日(水) 17時30分～19時30分
第2回	2012年6月中に計7ヶ所で体験を実施／参加者92人	
第3回	2012年7月3日(火) 17時30分～19時30分	2012年7月4日(水) 17時30分～19時30分
実施主体	ボランティア・NPO活動センター	

■経緯・目的

学生が何か新しいことを始めたいと感じる年度初めに、毎年本講座を実施しています。ボランティアに関心はあるが、活動未経験や活動経験が少ない本学学生と、今年度新たに登録したセンター学生スタッフを参加対象とし、彼らのその後のボランティア活動に繋がるきっかけとなることを目指しています。

■概要

全3回の講座で、第1回目ではボランティアの基礎的な考え方について講義形式で学び、第2回目に地域の団体で実際にボランティア活動を体験します。第3回目は参加者全員で体験をふりかえるグループワークを行った後、ボランティアを募集している団体をいくつか紹介しています。



【第1回】「ボランティアって何だろう？」

- 講師／内容（両キャンパスとも）：
 （社福） 社会福祉法人大津市社会福祉協議会
 ボランティアセンター
 ボランティアコーディネーター
 葛城 朋子 氏

ボランティアの概念や知識、ボランティア観について講義やワークを通して学びました。

【第2回】ボランティア体験プログラム

- 体験分野、体験先／内容：
- **福祉** 障害福祉サービス事業所 瑞穂
 ／『みずほ祭』での模擬店のお手伝い、お祭への利用者さんとの参加 など
 - **環境** 京エコロジーセンター
 ／『かえっこバザール』の運営のお手伝い
 - **福祉** 京都・深草ふれあい隊 竹と緑
 ／竹柵の製作設置、竹林の整備
 - **子ども** 京都市都市緑化協会
 ／プレイパークでの子ども達と一緒に遊ぶ、安全に遊べる環境づくり
 - **まちづくり** 京都市伏見区深草支所
 ／稲荷、疎水沿いを中心とした地域の清掃活動
 - **子ども・青少年** 南青少年活動センター
 ／『フリーマーケット in みなみ』の運営のお手伝い

【第3回】「ふりかえり」

- 活動のスライドをもとに、参加した活動を発表。
- グループに分かれ、感じたことなどを共有し、発表。
- 夏季休暇などにできるボランティア活動などを紹介。



■参加者の声・得られた効果など

参加した学生から、以下のような感想がありました。

- 初めてボランティアに参加し、「さすががしい気分」が今も残っております。本当に参加してよかったです。満足度100%です！
- 自分一人だけでボランティアに参加するのは難しいと思っていましたが、一人でも参加できるという「やる気」が入門講座から教わりました。よい機会になりました！
- 自分自身の成長につながる貴重な体験ができました。これからは、もっとボランティアをしていこうと思っています。

■コーディネーター所感

受講者は、その後ボランティア活動に継続して参加するなど、本講座がボランティアのきっかけづくりに有効になっていると感じています。

3回の連続講座として実施していますが、第3回の講座の欠席者が多くなっていることが課題となっています。参加を呼びかけて、学生の学びにつなげていきたいと思います。

企画名	ボランティアリーダー養成講座 第1回 「意見がサクサク出るミーティングをするには？～ファシリテーション入門～」
実施日	2012年8月6日(月) 13時30分～16時45分
場所	大宮キャンパス 清和館3階ホール
実施主体	ボランティア・NPO活動センター
参加人数	本学学生71名(うち、学生スタッフ64名)

■経緯・目的

ボランティア・NPO活動センターでは、ボランティアサークル等の支援と学生スタッフのスキルアップを目的として、2009年度よりボランティアリーダー養成講座を年2回程度(夏と冬)実施しています。

ファシリテーションに関する内容の講座は、前回は2010年度に行いましたが、今秋から代替わりなどで中心となって活動する1～2回生の殆どがファシリテーションについて学んだことがなく、ミーティングなどで意見をまとめるのに困難な場面も見られると予想されます。

このことから、夏に実施する第1回の養成講座では、ミーティングの運営方法を中心にファシリテーションの基礎とマインドを体験的に学

ぶことをテーマに実施しました。

■概要

講師：芳本 賢治 氏 (KENプランニング代表
/大阪経済大学情報社会学部非常勤講師)



内容：ファシリテーションの全体像（場のデザイン、意見の交換・整理、合意形成など）に関する講義を、以下のワークを交えて学ぶ

1. アイスブレイク《共通点探し》
2. 開いた質問と閉じた質問の事例研究
3. 傾聴と質問力を高めるワーク
4. 読み上げられた文章に沿って指示通りに絵を描くワーク
5. 与えられた3つのテーマに沿って議論を描いてみるワーク 他

■参加者の声・得られた効果など

【参加学生の感想】

- ・普段から気にしていた、傾聴について改めて考えることができたので、とても良い経験になったと思います。
- ・ワークが面白く、ファシリテーターとしてのまとめ方や合意形成の導き方など、ためになる講座だった。
- ・‘書くだけ、聞くだけ’ではなくて、有意義なミーティングにするには技術が必要なんだと思った。
- ・日々ミーティングをする中で難しい箇所もあり、また、知らないうちに自然に出来ていたこともあり、色んな気づきがあって良かった。
- ・全体的にととてもためになったが、もう少し時間が欲しかったです。しかし、予定よりもだいぶ時間がおしたので、残念でした。
- ・最後のグループの演習を、もっと一つのテーマに集中して学びたかったです。

■コーディネーター所感

ファシリテーションに関する講座は、1～2日かけて学ぶのが一般的ですが、センター主催のボランティアリーダー養成講座では、実施時期の調整や学生にとっての参加のしやすさなどを考慮したときにそれだけの時間を確保することが難しいため、ダイジェストに3時間程度の内容で行っています。

しかし、今回終了後に講師の方から「学生の皆さんにお伝えしたいことが、時間の割に山盛り過ぎたようでした」とのコメントをいただいたことから、やはり充実した内容にしようと思うと最低でも丸1日の時間をとったプログラムが必要なのではないかと改めて実感しました。午前の2時間と午後に3時間程度あれば、講師の方も時間をあまり気にすることなく講義いただけたのではないかと感じています。特に、最後の方は駆け足の説明にならざるを得ず、学生が最も学びたい合意形成の部分について具体的に体験してもらう時間が作れなかったのは、一番の反省点となりました。

また、今回は準備期間の短さや、普段使い慣れていない教室を使用せざるを得なかったことにより、講師の方に会場レイアウトやプログラムの摺り合わせなどにおいて、大変ご迷惑をかけてしまいました。

今後、同様の講座を実施する際は今回感じたことを反映して、講師との綿密な打ち合わせをした上で実施時間や内容についても組み立てていければと思っています。

〈報告者：ヒギンズ 尚美

（瀬田キャンパス コーディネーター）

企画名	ボランティアリーダー養成講座 第2回 「ワークショップデザインのあれこれ ～やってみよう “ワークショップのデザイン” についてご相談承ります～」
実施日	2013年2月4日（月）13時30分～16時30分
場所	深草キャンパス 21号館402教室
実施主体	ボランティア・NPO 活動センター
参加人数	本学学生59名（うち、学生スタッフ49名）

■経緯・目的

ボランティアサークル等の支援と学生スタッ

フのスキルアップを目的として、2009年度よりボランティアリーダー養成講座を年2回程度

(夏と春)開催しています。

春に実施する第2回の養成講座では、学生スタッフ、各サークルとも例年、4～5月に新入生を迎えるにあたって、サークルやグループの活動目的をきちんと伝えて後輩と作り上げていく「チームづくり」をテーマとしたセミナーの開講希望が多くみられます。そこで今回は、問題・理想・課題・対策を考えるプロセスの中で、チームの課題発見ができ、チームの活性化につなげることもできる一つの方法としての「ワークショップ」を取り上げ、実際に自分たちでつくる(デザインする)ことをテーマに講座を開催しました。

■概要

講師：高田 研 氏

(都留文科大学 文学部社会学科 教授)

内容：富良野エコミュージアムづくりワークショップポスト「北の国から」をめぐる市民参加の取り組みを事例として、ワークショップの全体像(どのように、どのような所で必要とされてきたのか、どのような役割を發揮するのか、その多様な種類等)に関する講義後、実際にグループでワークショップを実施しながら、その仕組み、デザインについて理解を深めた。

■参加者の声・得られた効果など

【参加学生の感想】

- ・事前に富良野でのワークショップについて聞いたので、実際の流れでイメージできてよかったです。
- ・ワークショップの方法で悩むことがあったので参考になった。根本的なワークショップの



意味も分かったので嬉しかったです。また色々なワークショップがある事を知ることができて、自分でも挑戦してみようと思いました。

- ・問題点からの課題の立て方など、今後につながることをたくさん学べた。グループワークもたくさん意見があって楽しくできた。
- ・ワークでは、解決したいと思っている問題はすんなりあげることができたが、課題を挙げるのに苦労しました。その点を日ごろから取り組んでいけば、ボランティアセンターがよい組織になると思いました。
- ・話し合いの中で、あえて「違い」の葛藤をつくるのが大切だということを知り、考え方が変わりました。相手の意見のダメな所を言ったりするのは本当に難しいけれど、大切なことだと改めて気づかされました。
- ・皆の意見はバラバラでまとめるのは難しいけれど、それを上手く使って、ワークをする方法を知ることができました。
- ・色々な視点からものを見る力がついたと思います。
- ・身近な課題から大きな企画まで、ワークを進めるプロセスを知ることができて良かった。やってみることが大切だと思いました。いろんな団体がやっているワークにも参加していきたいです。
- ・これからもっとワークショップについて学びたいと思えたとし、考えることは楽しいことでもあるな!と思うことができました。

■コーディネーター所感

リーダー養成との設定ながら、1～4回生が同時に受講している講座のため、それまでの経験の差などから理解度にとっても差ができてしま

いました。ただ「ワークショップ」が全く初めてだった学生よりも、「ワークショップ」のことを学ぶ前に、先にやり方（体験）だけ複数回経験している学生のほうが、ワークショップのやり方（技術）のみに関心がいき、前半の講義部分を理解できない（聞くことができない）のが特徴的でした。

後半のワークショップの実践では、グループの中で問題点から課題を見つけ出すことができ、楽しかったとの感想がある一方で、グループによっては時間不足のため消化不良で終わってしまったところもあったようです。後半のワークにもっと時間を取ってもらいたかったと

いう感想が多かったです。

講師に事前に受講対象者の特徴をお伝えし、時間配分や内容について十分に打ち合わせをすることができていなかったのが今回の反省点です。

自分たちの組織や、これからの活動に学んだことをどのように活かすかということまで考えられていた学生もいるので、今後のこの講座の持ち方として、事後に、学生同士で振り返り学びあう時間をとるとよいかもしれません。

〈報告者：竹村 光世

（深草キャンパス コーディネーター）